～宮大生のための交換留学～

中国・上海交通大学留学報告

工学部・研究科　社会環境システム工学科・課程・専攻　３年　（氏名　新城　政昴）

〇留学先：（中国・上海）・（上海交通大学・环境科学与工程学院）

〇留学期間：2014 年 9 月～2015 年 7 月(前期 9 月～1 月、後期 3 月～7 月）

〇渡航時の学年：　2　年次

〇渡日前の手続について

・留学に至った経緯について：

留学を決意した最大の理由はやはり中学時代にやめた部活動にあると思います。あの頃はいろいろな事情があり部活を辞めることを選択しましたが、本当のことを言うと無理にやることもできました。そのことは今になっても思い出しますし、これからも忘れることのない後悔だと思います。そのような経験から、チャンスがあるなら後悔しないように無理をしてでも必ず挑戦しようと思っていました。留学というものを意識しだしたのは自分の環境で留学ができると分かった時ですので、前々から留学を望んでいたとかそういうわけではありません。チャンスがあれば行ってみたい、それくらいの意識でした。現実問題として留学には費用が掛かり、決して裕福な家庭ではない私にはチャンスがないように思いましたが、それが可能となるようなチャンスが偶然訪れたため、すぐに国際交流センターに向かい留学の話を聞きに尋ねました。そこからはいろいろな話を聞きながら留学を決めました。

・大学での手続について：

大学から言われたやらなければならない手続きはまず各種ワクチンを打たなければなりません。ワクチンは一度打てばいいものではなく、何週間かあけて再度ワクチンを打ちにいくという作業を繰り返さなければならないので、早めに接種することをお勧めします。

その次に海外保険の加入です。海外に留学するということは全く異なる文化を体験することを意味します。もちろん食習慣があわず体調を崩すことがある人もいらっしゃいますし、そのような時に海外に保険に加入しておれば安心ですので加入して方がよろしいと思います。

あとはクレジットカードを一つ作ったほうがよろしいと思います。クレジットカードの申請には想像以上に時間がかかるので二か月前には作成してください。ただし、中国で最も有名なカードは union pay という会社なので近くの銀行に向かいその会社と提携しているか確認して、union pay があるクレジットカードを作っていください。中国国内のスーパーでは JCB,VISA,AMERICAN EXPRESS が使えないと思っていいです。観光地やデパートなどでは問題ないですが、日常生活に union pay カードがないと大変困ると思います。もちろん現地に行っても作れますが、日本から振り込む際の手数料などがかかりますのでその辺は気を付けてください。

・査証取得：

ビザは飛行機のチケットを取る際に代理してくれるということでしたので、チケット代理店に頼みました。自らビザを取る場合は福岡まで行く必要があります。ビザの取得等は取得ができるようになったらすぐに取ってください。早く動いても損することは一つもないと思います。

〇留学体験記：

渡航費用等は安くても片道４万～位になると思います。決して安い値段ではないので前もって予約してできる限り安く済ませることをお勧めします。
生活費（食費・洗濯代・風呂代）に関しては個人差が非常に大きいので、一概にこれくらいとは言えないのですが、私自身の生活費でいうと月 1500 元程度（約 30000 円）で収まっていたと思います。この値段は非常に安いと思うので基本的にこれ以上かかると思って構わないと思います。中国は確かに現在も食事や飲料水は日本より安い傾向がありますが、それ以外のもの（洋服、携帯端末、デパート等での食事、etc…）は日本の物価より高いです。私も留学前は勘違いしていた部分でもありますので一応頭に入れといた方がよろしいかと思います。

寮は私の場合２人部屋にカザフスタンの方と一緒に住んでいたので基本的にプライバシーというものは存在していませんでした。私はそういうのを気にするような性格でもないので何一つ不自由はありませんでしたが、人によってはルームメイトとの相性だったりで、耐えられないかもしれないので一人部屋を希望した方がいいかもしれないです。ですが、私個人としてはルームシェアをお勧めします。ルームメイトはもちろん日本語をしゃべれませんし入寮当初は精神的にきつい日があるかもしれませんが、ルームシェアすることにより語学に関しても鍛えられ、何より異文化を深く理解できるという利点があります。全く知らない人と一緒に住むということは怖い部分もあるかもしれないですが、それ以上の利点が存在するということも覚えていてください。私としてはルームメイトと会話ができるようになったことは本当にいい思い出の一つでもありましたので、怖がらないでチャレンジすることをお勧めします。

私は上海交通大学閔行校区という場所に住んでいたのですが、一言でいうとそこは上海の田舎です。上海の中では落ち着いて雰囲気で勉強に集中もでき、スポーツもできる場所です。私は、時間があるときはグランドに向かい中国人と一緒にサッカーもしていましたし、そこで出会った友達は今でも連絡を取り合う友達でもあります。勉強をするスペースとしても三つの図書館がありますので不満は一切なかったです。夜ご飯を食べた後、図書館に向かい勉強をしに行くのですが、その時に見る上海交通大学の生徒の真面目な態度は今でも忘れられません。それと同時に日本にいた時のことを見直すことにもなりました。授業に臨む態度、その後の予習復習全てにおいて感動しましたので、チャンスがあるのなら是非自らの目で見てほしいです。中国の学生にアルバイトをするという感覚はあまりないです。ですが、学生の一番の仕事である勉強に真剣に取り組んでいます。だからといって、勉強ばかりをしているわけでもありません、しっかり遊びますし、人としても尊敬できる人ばかりです。時間の使い方が非常にうまいという表現が正しいと思います。このことを体験できただけでも私は留学してよかったと感じました。

〇帰国後について

・派遣先で単位を取得しましたか？（　しなかった　）
・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（　単位申請しておりません。）

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

生活に必要なものの中でも、留学前に確実に確認した方がいいのは現地でお金を引き出せるかどうかです。極論ですがお金さえあればあとは留学先で購入すればいいので、お金だけはしっかりした方がいいと思います。あと、留学当初は必要なお金が多いので余分に持って行った方がいいです。最後に気を付けてほしいのは入国一か月以内に正式なビザをもらわなければならないので、入国後一か月間は注意してください。もし忘れると多額の罰金を支払わなければなりません。

留学に行くにあたってほとんどの人が気にするのは自らの語学力だと思います。今行くよりあと一年しっかり勉強していった方がいいかも、行って伝わらなかったらどうしよう、色々な葛藤があると思います。私も実際考えたことがありました。

ここからは完全に私個人の意見ですので反対する方もいると思いますが、一人の人間の意見としてみていただけると非常に助かります。

私の意見としては留学に行ける環境があり、残るのは自分の決断だけ、もしくは語学力のみという方は迷わず留学に行った方がいいと思います。語学力は、現地に行けば何とでもなります。もちろん事前に予習して留学に向かった方がいいとは思いますが、事前の予習に一年も費やすより、現地で一年必死に楽しく勉強した方が私はいいと思います。留学に行き、現地の方と交流するのに一番必要なのは語学力ではないです。それは、私たちが友達と遊ぶ際にその人の日本語力を見るのではなく、その人の人間性を見るのと同じだと感じました。中国人から見れば私たちの語学力なんて大したレベルではないですし、中国語ができるかどうかはあまり気にしていないと思います。私の例を挙げると、中国に留学した当初、私の中国語レベルはゼロでしたがサッカーを通して言葉は通じないけど友達になれました。そのような経験をしていくうちに、中国語を話せるということは確かに中国人と交流する際にもの凄い武器になりますが、私はコミュニケーション手段が一つ増えたというくらいの認識になっていきました。ですので、語学力に不安があるという方も是非留学してみてください。できることなら、他人を引き付けるくらいの圧倒的な特技を身につけて留学してください。その特技は留学生活の中で語学力よりも大切な一番の武器になると思います。何事にも挑戦していく気持ちが留学の際には必要だと私は感じました。

長くなりましたが、これで私の留学体験記は終わりです。ありがとうございました。